

「僕の体験」

西条市立河北中学校 2年 垂水 新太さん

— 令和3年度人権意識を高めるための作品集より —

僕は小学生のころから、人権について学習してきました。内容は、日常の人間関係の中で生まれる身近な差別に始まり、学年が進むにつれて、世界中で問題となっている様々な差別について学ぶようになりました。僕には、実際に起きた出来事がきっかけで、自分の心が大きく変わった経験があります。

その日僕は、学校から一人で帰宅していました。僕の通学路には、障がい者支援施設があります。そのため、施設の人が散歩している姿をよく見かけます。僕の住む地域では、子どもでも大人でも、道で出会った人には明るい声で挨拶する習慣があります。僕もその習慣はとても良いことだと思っていたため、誰にでも同じように挨拶するようにしていました。しかし、中には知らないふりをする人もいます。その人は、よく見かけてすれ違うのですが、一度も挨拶を返してくれたことがありませんでした。僕はどうしてだろう、と疑問に思っていたし、少し寂しい気持ちもしていましたが、会うたびに挨拶を続けました。

ある日のことです。僕はいつも通り通学路を帰り、その人に挨拶をしようとした瞬間、その人は僕の後ろを指して「アー。」と大きな声で叫んだのです。最初は何を言っているのかわからず驚きました。指さす方を見てみると、僕のハンカチが落ちていました。僕はすぐに何が起こったのか理解しました。そして、心がふわっとオレンジ色に染まり、温かくなりました。言葉が話せないのか、人に話しかけるのがとても苦手なのか、分かりませんが、その人は何とかして僕にハンカチを落としたことを伝えようとしたのでしよう。僕はこの時、この人はいつも僕が挨拶をしても無視する、言葉が話せない障がい者なのかと、知らず知らずのうちに差別していたことに気がきました。そして、そんな自分の心を恥ずかしく思い、とても自分に腹が立ちました。差別はいけないと頭では理解していたつもりでも、自分の中に人を差別したり、勝手に決め付けたりする心があったのです。僕はこの事実ショックを受け、落ち込みました。

この体験をきっかけに、僕は「あの人は〇〇な人だ。あの人の友達はコロナに感染した。」など、「あの人は…」という考え方、言い方をやめようと思えました。考えてみれば、誰もが同じ人間です。幸せに生活する権利を持っています。その考えがさらに深まったのが、2021年のパラリンピックを見た時でした。今までごく普通に元気に生活していた人が、不慮の事故で大けがをしたり、生まれつき障がいや病気をもっていたり

いました。中でも一番印象に残っているのがラグビーです。手を失った人、足を失った人、全身大やけどを負った人、ほとんど目が見えない人、全ての人たちが、必死でボールを追いかけていました。どの人も、人の目を一切気にすることなく、懸命にスポーツを楽しんでいました。僕は、その姿に心から感動し、さわやかな気持ちでいっぱいになりました。

そのことがきっかけで、僕は人権に対する意識が変わりました。それまでの僕は、差別はいけない、と学んではいても、表面上分かったつもりでいただけでした。なぜ人は差別するのか、そんな風に見て、本当に幸せな人生が送れるのか、どうすればこの世から、差別がなくなるのだろう…と考え、もっと人権問題について勉強したいと思うようになりました。

僕はまだまだ、学びの途中ですが、人の心になぜ差別心が生まれるのか、少し分かる気がします。なぜなら、人の心は弱いと思うからです。世の中は様々な考え方があって、どうしても何かを決めなければならない時、多数派が力をもち、少数派は肩身の狭い思いをする場面はよくみかけます。そんな世の中においては、多数派に属するふりをして自分を守ること仕方がないことかもしれません。人と違うことは個性であると、昔に比べると多様性が認められる時代になってきていますが、その考えが世に受け入れられるようになるまでどれだけの多くの闘いがあったことでしょうか。自分の本来の姿を明らかにするカミングアウトという行為も、珍しくなくなりました。自分は自分であるということ、堂々と主張できると、どれほどの人が救われ伸び伸びと自分の人生を生きられることでしょうか。しかし、自分らしく生きるということは、本当は当たり前のことのように思えてなりません。世の中の常識と呼ばれるものと、少し違っていたら、人から変な目で見られたり、排斥されたりするのは、まさに人の心の弱さや知らないものへの恐れによるものだと思います。そんな当たり前のことが、もっともっと認められる世の中にしていくためにも、僕たちはより深く広く学び、多様性について学ぶ必要があります。自分の中の差別心に気付き、間違った考えを正していけるよう、誰もが努力することで、より住みやすい、幸せな世の中になっていくと僕は信じます。

このように、僕は自分の差別心に気付き、それを壊していくきっかけになるような良い体験をしました。ほんの小さな出来事でしたが、あの日僕がハンカチを落としたと伝えてくれようとした人に、直接会って、もう一度お礼が言いたいです。そして、これから差別を見つけた時、正しい判断ができるように、また、間違った考えに注意ができる自信と勇気を持った大人になっていきたいです。

令和4年度差別をなくする市民の集いで、ご本人にこの作品を発表していただきました。

ハンカチを落としたことがきっかけで、自らの差別心に気がきます。そして、「恥ずかしく思い、とても自分に腹が立ちました。」とつぶっています。垂水新太さんは素晴らしい人権感覚をもっている中学生です。

自らの差別心に気付き、それを壊していく決意、差別を見つけた時、差別をなくしていくための行動を起こす勇気、どちらも私たち一人ひとりがもっていなければならないものです。そのことをこの作文は教えてくれています。

— 西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課 —



公民館だより

よしい

2023年  
4月号  
令和5年

吉井地区2月末人口	前月比
男 1,110人	(-5人)
女 1,213人	(+1人)
計 2,323人	(-4人)
世帯数 1,091戸	(-4戸)

〒799-1363 西条市玉之江235-2  
TEL・FAX：(0898) 64-3001  
E-mail : yoshii-k @ saijo-city.jp  
https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/syakaikyoku/yosii-index.html



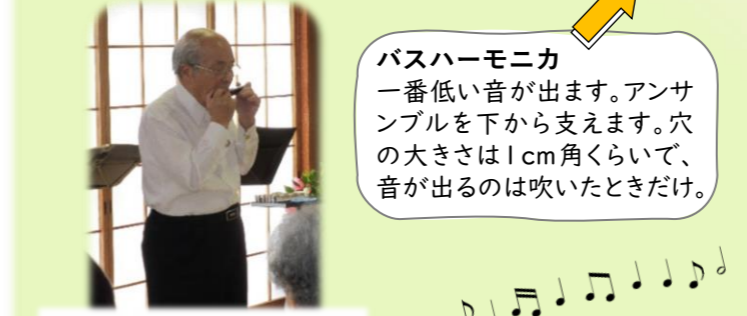
← カラーの公民館だよりは こちらです。



総勢9名によるアンサンブル



コードハーモニカ  
一度に8つの音を出して和音を奏でます。穴の数は192個！



バスハーモニカ  
一番低い音が出ます。アンサンブルを下から支えます。穴の大きさは1cm角くらいで、音が出るのは吹いたときだけ。

宇佐美 進先生による独奏

ハーモニカコンサートを開催しました

3月16日(木)に、ハーモニカアンサンブル水都のみなさんによるハーモニカコンサートを開催しました。

柔らかい音色で奏でられる昭和の懐メロに、たくさんの方がリズムを取りながら聴き入っていました。神業のようなソロ演奏には、感嘆の声が上がりました。

また、宇佐美先生のユーモアあるトークもとても楽しく、今からでもハーモニカを始めようかという気持ちになりました。

素敵な生演奏と笑顔がいっぱいの、春を感じられるひとときでした。



アンコール「ふるさと」は、お客さんも一緒に歌いました。

第4回

玉之江フェスティバル  
～ Final Count Down ～

令和5年3月26日(日)  
13:00～17:00

フリーマーケットへ多数の商品を出していただき、ありがとうございました。

【オープニングライブ】

小学校体育館にて  
12:40 開場  
12:45 ライブスタート

【玉之円チケット販売】

13:00 より  
公民館前、体育館で

お願い

- 駐車場は体育館横とJA前のみです。近隣道路には停めないようにご協力ください。
- 駐輪場はご用意しています。数に限りがありますので、よろしくお願ひ致します。

○ 公民館からのお知らせ ○

公民館協力委員会開催

2月24日(金)に、令和4年度第2回公民館協力委員会を開催しました。今年度の事業報告と令和5年度の事業計画について協議しました。

これからも委員の皆様のご協力をいただきながら、公民館事業を進めてまいります。

最後の粗大ゴミ回収

吉井公民館での粗大ゴミ回収が最終日を迎えました。一時は収集車とトラック10台が集まり、約2時間半かけて全てのゴミを運び出しました。

4月から新しい取組が始まります。戸惑うことありますが、ゴミの資源化・減量化を進めましょう。



開催決定

令和5年度 吉井地区市民大運動会

3月7日(火)に、令和5年度吉井地区市民大運動会実行委員会を開催しました。令和2年度から中止してきた市民大運動会を、今年度再開します。

■開催日:令和5年5月21日(日)

予備日:5月28日(日)、29日(月)

安全で楽しい運動会になるよう、地域の皆様のご協力をお願いいたします。プログラムは、5月になりましたら自治会を通じて配布します。



4月23日は「子ども読書の日」です。幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが大切です。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人が子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「子どもの読書週間」です。

公民館の図書コーナーにも、子どもに読める本を少しずつ増やしているところです。

- 「ぼくらのオンライン戦争」宗田 理
- 世界一クラブシリーズ 大空なつき

○ 西条市からのお知らせ ○

参加者募集 西条市軽スポーツ大会

西条市スポーツ推進委員協議会では、気軽にスポーツに取り組むとともにスポーツの楽しさを知っていただくため、軽スポーツ大会を開催します。

【日時】 令和5年5月14日(日) 9:00~12:00(受付:8:30~)

【場所】 丹原体育館アリーナ

【大会種目】 囲碁ボール

【体験種目】 シャッフルボード

【対象者】 小学3年生以上(1チーム2~4名)

【定員】 先着40名

【申込方法】 4月28日(金)までに専用の用紙を申込先に提出。

●スポーツ健康課へ申し込む場合は、FAX可。

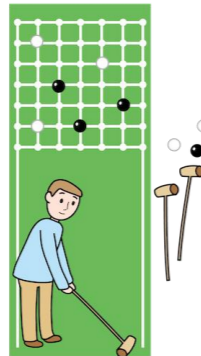
FAXの場合は、受付の確認をしてください。

●大会当日のお申込みはできません。

【注意事項】 ●運動のできる服装でお越しください。

●水筒・タオル・室内シューズをご持参ください。

…… 感染の状況や天候等により、中止や変更になる場合があります。……



犬の登録 狂犬病予防注射日程



	場所	時間
14 (金)	石田集会所	13:40~13:50
	吉井公民館	14:00~14:10
	今在家三保神社	14:20~14:30
16 (日)	広江徳蔵寺	14:40~14:50
	石田集会所	9:50~10:00
	吉井公民館	10:10~10:20

【申込先】

■スポーツ健康課(市庁舎本館1階)  
TEL:0897-52-1255  
FAX:0897-52-1294

- 西部支所市民福祉課
- 丹原サービスセンター市民福祉係
- 小松サービスセンター市民福祉係
- 各公民館

【問合せ先】お近くのスポーツ推進委員 または上記申込先まで

○ サークル活動 ○

余暇を利用して趣味を広げてみませんか。各サークルではメンバーを募集しています。活動内容について知りたい方や体験したい方は、公民館にお尋ねください。また、新しいサークルを立ち上げたい場合もご相談ください。



令和5年度 定期利用サークル

	内容	名称	活動日	活動時間
1	押し花・PPバンド	ひだまり	第2,4火	9:00~16:00
2	陶芸	ひなの会	第1,2火	12:30~17:00
3	着物リメイク	吉井きものリメイクサロン	第1,2,4水	9:00~12:00
4	料理	吉井クッキングサロン	第3水	9:00~12:30
5	写真	吉井フォトクラブ	最終水	18:30~21:30
6	料理	吉井にこにこクラブ	第2木	9:00~14:00
7	健康体操	いきいき百歳体操	毎週木	13:30~15:00
8	絵手紙	吉井絵手紙グループ	第2金	9:30~12:00
9	健康体操	自力整体	毎週金	19:30~21:00

吉井フォトシニアクラブ作品展



【期間】 ~ 3月31日まで

【時間】 お店に確認してください。

【場所】 画廊喫茶ベイシック(三芳1703-5)

お礼

次の方からご厚志を頂きました。厚くお礼を申し上げますとともに、故人のご冥福をお祈りいたします。

夕崎幹好様  
(故 夕崎功吉様ご遺族)

【今在家老人クラブ】

石田短歌会

老人なさねばならぬことならずして御近所さまに頼りて生きる  
 気持は二十歳手足の皺は八十路肌足腰立たず口立つこの頃  
 拾い来し川原の盆石をあちこちに動かし遊ぶ力は無くて  
 早春の日差しはあれど干し物をする手かじかむ今朝のつめたさ  
 年豆の多きを前に思案する自力あきらめミキサーに頼る

山内喜久子  
 山内美佐子  
 森田 薫  
 徳永吉則  
 相原サツキ

4月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
■ 毎週月曜日と祝日は休館日です ■ 日曜日を臨時休館といたします						1
2	3	4	5	6	7	8
休館	休館		ガラスびん			カワセミ号 11:00~11:30
9	10	11	12	13	14	15
休館	休館		古紙	♪吉井カフェ 13:30~15:00		
16	17	18	19	20	21	22
休館	休館	公民館 協力委員会			運動会役員会	カワセミ号 11:00~11:30
23/30	24	25	26	27	28	29
休館	休館					昭和の日 休館